

# 高木小だより 高木っ子 No11

御船町立高木小学校  
令和7年9月30日(火)  
文責：校長 中村 繁徳

## 集団宿泊教室・水俣に学ぶ肥後っ子教室

Challenge

「少しずつ、すこしずつ、それが大きい」

9月17日(木)～18日(金)に5年生が、水俣病資料館と熊本県環境センター、あしきた青少年自然の家に行きました。第1日目は、水俣病資料館等で展示物や語り部さんのお話を聴くことを通して、水俣病について正しく知り、や水俣病患者の方々の思いに触れ、自分のこととして考えることができました。また、環境問題についても自分にできることを考える機会となりました。第2日目は、あしきた青少年自然の家で、全員で協力して、ペーロン船を進めました。この2日間、現地での学びを深めるとともに、親元を離れて生活することで心も成長した経験となりました。



## 校外研修

熊本県教育委員会では、指導力に優れた先生をスーパーティーチャーとして配置しています。高木小学校は、今年度、授業力の向上を図るためにスーパーティーチャーを訪問し、実際の授業を参観して指導の工夫を学んでいます。今年度はすでに、5月14日(水)益城中央小学校の原口順子指導教諭、6月5日(木)嘉島西小学校の藤田沙織指導教諭を訪問し、授業づくりを勉強しました。

3回目は、9月17日(水)に乙女小学校を訪問し、赤星桂子先生の道徳の授業を参観させていただきました。授業は、4年生で「布田保之助の心(くまもとの心)」を使った「働くことの大切さ」を考える授業でした。授業の最後に、「働くってどんなこと」という教師の問いに、「みんなの笑顔が見られることです。」「根性が大事、だれかのためになることです」等の発言があり、一人一人が自分の考えを深めていく姿がしっかりと見える授業でした。児童が主体の授業を作るためには、教師が意図的にどの場面でどのように働きかけていくのかが重要です。今後、研修の成果を高木小学校の子どもたちに返していくよう頑張ってまいります。

ありがとうございました。

9月21日(日)に、老人会の6名の方が、運動場の草を刈り取ってくださいました。今年度は、猛暑の影響かと思いますが、草の勢いが旺盛で、運動場にもたくさんの中の草が生え、その対応に苦慮していたところでした。おかげさまで運動場もきれいになりました。ご協力ありがとうございました。